

登録コード	L2965000	開講年度	2026				
担当教員	速水 香織			副担当			
授業科目	古典語						
英文授業名	Classical Language: character written in cursive style						
授業タイトル	くずし字の解読						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限
講義室	人文第5講義室		遠隔授業科目		読替科目		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加わらぬ対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			江戸時代以前に一般的な表記であった「くずし字」による文章読解を通じ、専門的な知見を養うとともに、異なる時代の文化に触れることで文化史的な視野を広げた上で、情報を的確に理解・分析することができる。			
	【2023年度以降加わらぬ対象】必要な情報を的確に収集し、理解し、発信する力が身についている。【メディアリテラシー・コミュニケーションリテラシー・外国語能力】			江戸時代以前に一般的な表記であった「くずし字」による文章読解を通じ、専門的な知見を養うとともに、異なる時代の文化に触れることで文化史的な視野を広げた上で、情報を的確に理解・分析することができる。			
	【2023年度以降加わらぬ対象】専門的学力を基盤とし、持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力が身についている。【開拓力・企画発想能力】			江戸時代以前に一般的な表記であった「くずし字」による文章読解を通じ、専門的な知見を養うとともに、異なる時代の文化に触れることで文化史的な視野を広げた上で、情報を的確に理解・分析することができる。			
授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	江戸時代以前に成立した日本の古典文学作品を読解するために必要となる、くずし字の解読に取り組みます。江戸時代に刊行された木版本を主要なテキストとして、平仮名及び頻出する漢字を一通り解読できるようになることを目指します。						
授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：江戸時代の木版本について 第3階：江戸時代の木版本について 第4回：「小倉百人一首」を読む 第5回：「小倉百人一首」を読む 第6回：「小倉百人一首」を読む 第7回：『伊勢物語』を読む 第8回：『伊勢物語』を読む 第9回：『伊勢物語』を読む 第10回：『枕草子』を読む 第11回：『枕草子』を読む 第12回：『枕草子』を読む 第13回：『おくのほそ道』を読む 第14回：『おくのほそ道』を読む 第15回：『おくのほそ道』を読む 定期試験 第13-15回のいずれかに、授業アンケートを実施します。						
成績評価の方法	各回の授業における課題の提出状況（20％）、定期試験（80％）により評価します。						
成績評価の基準	くずし字の解読において、平仮名が一通り読めることを基準とします。頻出する漢字も含め理解度が卓越していれば「秀」、優れていれば「優」、良好であれば「良」、基準に達していれば「可」と評価します。						
事前事後学習の内容	解読用の資料を事前配布します。授業開始時までに予習することを事前学習、授業後に復習することを事後学習とします。						
履修上の注意	授業において、グループワークに取り組む予定です。 また、授業に関係のない私語等の迷惑行為は一切認めません。授業に差し障ると担当教員が判断した場合は退室を命じ、単位認定を行わないことがあります。						
質問、相談への対応	可能な限り対応しますので、事前に担当教員までメールにてお問合せください。 メールアドレスは、khayami@shinshu-u.ac.jp です。						
教科書	授業時に資料を配布します。						
参考書	『字かな一出典明記一改訂版』（笠間書院1972、ISBN-13：978-4305000002）						